2025年度日系社会研修　コース概要

NO.	41
所管センター	横浜
分野	団体運営・組織強化
研修コース名（日）	持続可能な日系団体運営管理
受入人数	6
受入時期	下半期
来日日	2025年10月5日（日）
帰国日	2025年11月7日（金）
提案団体（日）	公益財団法人海外日系人協会
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://www.jadesas.or.jp/
研修員必要資格	日系団体等非営利団体（日系農協および日系団体下部組織を含む）に所属し、 帰国後、習得した技術を日系社会や地域社会のために役立てられる者
研修員に必要な 実務経験年数	実務経験1年以上
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	不問
英語能力（選択）	不問
研修目標	研修員が、持続可能な団体運営の方法に関する知識を習得し、ソーシャルビジネス的手法を用いた日系団体による地域活性化のための新規事業計画を作成する。
期待される成果 （習得する技術）	1.研修員に、非営利団体の運営管理手法に関する知識が習得される。 2.研修員に、日本人移住の歴史及び日系社会支援の変遷に関する知識、並びに知識普及のための技術が習得される。 3.研修員に、現代日本事情及び日本伝統文化に関する知識が習得される。 4.研修員が、日系団体及び地域活性化のための新規事業計画を作成する。
研修計画 （内容）	1. 講義；日系関連事業、日系団体に関する講義／非営利活動、ソーシャルビジネスに関する講義／ビジョン・ミッション論／モチベーション管理／リーダーシップ論／ファンドレイジング 2. 演習；社会的課題発見手法／問題解決手法／新規事業作成手法 3. 見学；ソーシャルビジネス現場視察／在日日系コミュニティ支援 4. 演習；日本文化行事企画／ファシリテーション手法
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	非営利活動に関する講義や課題解決手法等の演習、地域課題解決型NPO法人や価値提供型NPO法人等の活動視察を通じて、相互扶助団体としての日系団体から地域貢献活動を中心とした新しい日系団体のあり方を見出し、日系団体および日系社会並びに地域社会が活性化されることが期待される。また、ソーシャルビジネス手法を習得し、ソーシャルビジネス手法を用いた持続可能な団体運営を目指す。
応募希望者への特記事項	